

平成29年度 第1回 学校評価 アンケートの集計(%)

A…よくあてはまる B…あてはまる C…どちらともいえない D…あてはまらない

			A	B	C	D
子どもの様子	1	夢中になって遊ぶ	75	25	0	0
	2	言動で伝える	73	23	4	0
	3	動植物を大切に	56	40	4	0
	4	決まりを守る	40	52	8	0
	5	友達と一緒に楽しむ	77	19	2	2
	6	くじけずがんばる	54	40	6	0
幼稚園の取組	7	教育目標	56	40	2	2
	8	環境の工夫	75	21	2	2
	9	家庭・地域との連携	67	29	4	0
	10	情報発信	67	33	0	0
	11	一人一人を大切に	83	17	0	0
家庭では	12	会話	65	35	0	0
	13	食生活について	50	48	2	0
	14	読み聞かせや読書	46	33	17	4
	15	自分のことは自分で	46	40	14	0

(1)子どもの様子

どの項目もAB合わせて90%を越えているが、「きまりを守る」「くじけずがんばる」ことができていないと考えている保護者が多い。また少数だが、「友達と一緒に遊ぶ」ができていないと思っている保護者もいる。一人で楽しむ時期という場合もあるので、見守っていきたい。実際は、子どもたちは自分の好きな遊びを見つけて夢中になって遊び、その中で人間関係を深めたりルールを知ったりしている。

「決まりを守る」と「あきらめずにがんばる」に相関関係が見られた。「決まりを守っている」子どもは「あきらめずにがんばっている」子どもというように見られていることになる。

(2)幼稚園の取組

どの項目もAB合わせて90%を越えている。幼稚園の取組に対して概ねご理解いただいている。しかし教育目標や環境構成の適当さについて初めてCDと評価された。理由は「小学校になって落ち着かない。今のうちにしつけが大切」というものだった。「家庭との連携」とも合わせて、幼稚園教育の大切さをもっと伝えていきたい。

「教育目標」と「環境整備」に相関関係が見られた。「教育目標」が適切であると考えている保護者は、「環境整備」ができていると判断していると考えられる。

(3)家庭では

「読み聞かせ」「自分のことは自分で」ができていないと考える保護者は毎回多い。保護者として、自分自身に厳しく評価されているようだ。

「食育」と「主体性」に相関関係が見られた。食育を意識しておられる家庭は、自分のことは自分でできるよう促している場合が多いようだ。

